



いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

2530

<http://iwakitaira-rc.jp/>

■事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：八幡 恭朗 幹事：志賀 康朗 発行：会報・広報委員会

第 3217 例会 (22号) 2020 年 12 月 10 日 (木) 雨

会員卓話 SPEECH

テレビ報道と番組作り



福島テレビいわき支社

岡田 健太郎 会員

改めまして、今年7月から入会させて頂いた福島テレビいわき支社の岡田と申します。きょうは会員卓話という貴重なお時間を頂きましたので、「テレビ報道と番組作り」をテーマに、私自身のこれまでの経験なども交えてお話をさせて頂ければと思います。

福島テレビは昭和38年(1963年)に開局した県内では初めての民間放送局、いわば先発局です。開局当時はTBS系列局としてスタートしましたが、その後フジテレビ系列局にネットチェンジし、現在に至ります。

自社制作番組では、夕方のニュース番組「レポートプラス」や毎週土曜日の「サタふく」、震災前まで放送していた「荻哲也のカラオケグランプリ」など、地域密着型の番組を制作して参りました。

私のこれまでの経歴を少しだけ振り返りますと、平成10年に福島テレビに入社し、これまで報道畑を中心に歩んで参りました。事件事故や災害現場、地域の頑張る人々など様々な取材を通して、県民に「ふくしまの今」をテレビで伝えてきました。

ローカル局のニュース番組の役割は、県民が知りたい情報、必要な情報をいち早く伝えることにあります。原発事故の直後は、全国放送や全国紙にも福島の様子が毎日のように取り上げられましたが、年々その頻度は少なくなっています。

もちろん今はコロナ禍の最中で、弊社でも県民の安心・安全につながるニュースを放送することが最優先になっていますが、県内の先発局として、復興への歩みを継続的に伝え続けていくことも使命だと思っています。

テレビ報道は、伝え方を一つ間違うと、思わぬ風

評被害や人権を傷つけるリスクがあります。最近では、マスコミの偏向報道や過剰な取材に対する世間の風当たりも強くなっておりますので、報道機関として謙虚に向き合っていかなければならないと思います。

つい先日、あるお笑い芸人の謝罪会見があり、芸能リポーターたちの心ない、無神経な質問に多くの非難が集中しました。取材者として、時には厳しく追及する姿勢も必要ですが、報道する目的や取材される人への敬意を忘れてしまうと、世間の感覚と乖離してしまうんだと改めて思いました。

その一方で、個人情報保護と報道のバランスは、特にここ数年難しくなっていると感じます。例えば、凶悪犯罪や悲惨な事故の報道で、被害者や遺族の取材をどうするのか。仮にすべて匿名報道が良いとなった場合、人生を一瞬で奪われた被害者の無念や遺族の思いが伝わるのか……

メディアスクラムなど過剰な取材は厳に慎むべきですが、報道を通して社会に教訓や再発防止を訴えていくことも報道機関としての大きな役割だと思います。ニュースの伝え手として時に迷いながら、人権や公平性に配慮しながら、真摯に向き合っていくしかないと思います。

次に「テレビ番組の現状」について少し触れます。様々なネットメディアの台頭でここ数年、若い世代を中心にテレビ離れが進んでいると言われてい

ます。正直、テレビ局員の私から見ても、「最近は面白い番組が減ったな」と感じます。バラエティでお笑い芸人が、相方の頭を叩くだけで「イジメを助長する」などと非難を受ける時代……いわば「なんでもあり」が魅力の一つだったはずのテレビですが、制作側が委縮して、「無難な番組」ばかりを作るようになったことも要因だと思います。

それでもアイディア次第で、視聴者の支持を集める番組も生まれているので、作り手側の手腕がますます問われると思います。

そんな中、ローカル局の強みの一つは、やはり地域密着の番組作りです。各地に取材に出向き、ニュー



2020~2021年度
国際ロータリーのテーマ

「ロータリーは機会の扉を開く」

Rotary Opens Opportunities

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

スや地域ネタ、天気情報などをより詳しく放送できることにあります。特に福島県の場合は視聴率も比較的高く、テレビに求められる役割は大きいと自負しております。

そして様々な番組の合間に流れるテレビCMは、長年の視聴習慣で、他のネットメディアと比べて、視聴者に比較的自然に受け入れられているのが、大きな強みです。CM自体の効果はもちろんですが、視聴者にとって「テレビCM=スポンサーの信頼性」につながっていることも、大きなメリットと言えます。

最後になりますが、テレビ業界も厳しい時代に入し、先を見通せる状況ではありません。県内に希望や元気を発信し、「地域のテレビ局」としてこれからも必要とされる存在であり続けるために何をすべきか、局員の一人として模索していきたいと思っております。

司会：志賀康朗幹事

〔点鐘・ロータリーソング（奉仕の理想）・四つのテスト（鈴木東雄会員）〕

◆会長挨拶ならびに報告



早いもので今年の例会も今日と、来週のクリスマス家族例会の2回を残すのみとなりました。先ほど12月の理事会が行われ、1月のプログラムが承認されました。当初の予定では、1月7日に新年例会を開催してスタートの予定でしたが、本年度は、コロナウイルスの感染防止の観点から、新年例会を14日のガバナー補佐訪問と一緒に、通常の12時30分からの例会としました。年末年始はどうしても人の移動が避けられないので、年が明けてからすぐの例会は控えようという判断でこのようにさせていただきました。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

◆幹事報告

○郡山RC、いわき平東RC、いわき勿来RCより会報が届きました

◆委員会報告・会員報告

◆出席委員会（河口利夫副委員長）

例会日	基本会員数	出席者	メーキャップ数
12月10日	51名	28名	—

◆ロータリー財団委員会（阿部弘行委員長）

八幡恭朗さん、越智正典さん、飯野光世さん、松崎浩さん、清水和政さん、阿部弘行さん。以上6件

◆米山記念奨学会委員会（鈴木弘康副委員長）

八幡恭朗さん、越智正典さん、飯野光世さん、松崎浩さん、清水和政さん、阿部弘行さん、大久保健蔵さん。以上7件

◆雑誌委員会（黒須幸雄委員長）

○ロータリーの友 見どころ読みどころ

12頁からの「どうなる？クラブの今後」アンケート調査の記事内で16頁に会津若松中央RC、20頁にいわき四倉RCの回答が載っています。

47頁からの連載コミックではロータリークラブ創立の場面になりました。

84頁（縦組13頁）卓話の泉に宝くじの話が載っています。



◆スマイルボックス委員会（岡田健太郎委員長）

♥八幡恭朗さん（岡田さん卓話よろしくお祈いします）♥志賀康朗さん（岡田さん卓話よろしくお祈いします）♥岡田健太郎さん（本日の新人卓話よろしくお祈いします）♥中村将之さん（卓話宜しくお祈いします）♥飯野光世さん（岡田会員卓話楽しみにしています）♥松崎浩さん（岡田健太郎さん卓話よろしくお祈いします）♥鈴木東雄さん（岡田さん卓話よろしく）♥有賀行秀さん（岡田さん卓話よろしくお祈いします）♥渡邊有さん（岡田さん卓話宜しくお祈いします）♥清水和政さん（岡田さん卓話宜しくお祈いします）♥大久保健蔵さん（岡田さん卓話よろしくお祈いします。早退します）♥黒須幸雄さん（1年間お世話様でした）以上12件

🐟 謹賀新年 🐟



★本日の例会案内 12月17日（木）18：30～
年忘れ家族会

★次回の例会案内 1月14日（木）12：30～
新年例会（通常例会）
林 いわき分区ガバナー補佐来訪

※12月24日・31日 令和3年1月7日は休会